

New York州Westchester County (郡) 行政省

“Department of Parks, Recreation & Conservation”におけるSummer Camp

—『Westchester Summer Music Center(夏期音楽教室)』の取り組み—

A Summer Camp in the Department of Parks, Recreation a Conservation of Westchester
County, New York : The Westchester Summer Music Center Project

塩 田 英 樹*

SHIOTA, Hideki

I. Westchester County Parks

ニューヨーク州の中心部City of New Yorkのちょうど上に位置するWestchester County (郡) はマンハッタンへの通勤圏であるが治安もよく、秋には紅葉がきれいで多くの自然を愛する人々がこの地にやってくる。こうした環境もあり、以前クイーンズ地区に多く住んでいた高額所得者層 (特に日本人と永住組) が今ではHartsdale, Scarsdale地区などに集中し、高級住宅街も多い。ここで取り上げる “Westchester County Department of Parks, Recreation & Conservation” (以後 “Westchester County Parks” と略記) はWestchester County (郡) の政府組織 (省) であるが、一口に「Park—公園」といっても、日本の近所にある小さい公園とは違い、16,000エーカーの規模にある地域住民のレクリエーションのための50以上の公園、施設を総称している。

1. 設立の経緯

Westchester Countyは、1910年には28万人だった人口が1940年までには100万人に達するであろうと当時の商工会議所では予測し、急激な人口増加が見込まれていた。特に、マンハッタンの通勤圏内である南部においては、西側のハドソン川沿い、東側のロングアイランドに面した入り江の公衆海水浴場や、住宅密集が考えられる将来に向けた交通網の整備やその他の公衆設備の獲得が要求されていた。それに伴い、健康的な野外レクリエーションを必要とする住民のために十分な施設の獲得が必要とされると考えられ、合理的な公園設備の計画の必要性が保証されることとなり、1922年にまず “Westchester County Park Commission (公園委員会)” が動きだした。それに続き、“Women's clubs (女性クラブ)” “Westchester County Children's Association (児童協会)” “American Legion (退役軍人会)” らが働きかけ、Westchester Countyの青少年のためにレクリエーションを組織立て、発展させるための “Westchester County Recreation

*全日制日本人学校「ニューヨーク育英学園」教諭

Commission（レクリエーション委員会）”が設立された。当時の委員長Mrs. Meyerはその業務について、「年齢・社会的階層に関わらずすべてのWestchester Countyの住民に“生活に健康・喜びを”履行する役目がある」と述べている。当時、多くの楽しみと刺激を求める思春期の世代の若者が、自分達の住んでいる地域に注目するのではなく、大都市（New York City）に行き、間違っただけの娯楽や営利化されたレクリエーションを見つけている現実があった。つまり、Westchester Countyの未来を考えた上で、各地方自治体と共に道徳的規範を確立するための働きをするために“Westchester County Parks”が設立された経緯があった。

2. Park Pass

Westchester County Parksの利用に関しては、「Park Pass」という顔写真つきのIDを発行している。「Park Pass」の発行に関してはニューヨーク州運転免許書か、現住所を証明と顔写真つきの身分証明書を必要とし、White Plains市にあるWestchester County Centerにて随時発行の手続きをとっている。なお、12歳以下に関しては「Park Pass」は要求されていない。（発行手数料40ドル。2003年度「Park Pass」は2005年12月31日まで有効）この「Park Pass」取得時には50ドル相当の「Parks Coupon」が与えられ、すべてのParks内の施設、ならびに駐車場の利用料金の割引特典がある。

3. Program

Westchester County Parksは一年にわたり様々なレクリエーション活動の場所を提供している。その主なProgramの内容を紹介すると次のようなものがある。

- ① Group Picnics（Westchester County Parksの施設をピクニックとして利用できる。26人以上のグループでは事前に許可が必要。）
- ② Athletic Fields（Westchester County内にある2ヶ所の陸上競技場を行事等で使用することができる。料金は2時間30分までで100ドル。）
- ③ Trailways（目的に応じて整備された各種遊歩道が数ヶ所ある。…Paved Multi-use Trails；舗装済多目的遊歩道、Hiking Trails；ハイキング用遊歩道、Mountain Biking Trails；マウンテンバイク用遊歩道、Equestrian Trails；乗馬用遊歩道）
- ④ Golf（18ホール完備のゴルフコースが5ヶ所整備されている。Westchester住民は14～27ドルまで一時間帯・年齢等によって異なる—の低料金でプレーすることができ、毎年、性別・年齢別にトーナメントも行われる。）
- ⑤ Boating（カヌー、カヤック、また21フィートまでのボートを利用することができる湖が7ヶ所整備されている。）
- ⑥ Swimming（泳ぐことが可能な海岸が3ヶ所、プールが5ヶ所ある。Westchester住民以外は利用できない場所もある。）
- ⑦ Conservation and Historic Preservation（Westchester Parks内の動植物の生態系、水資源を調

査・資料化する自然保護施設があり、家族で環境保護について学ぶプログラム“V.I.P Environmental Educators program”がある。）

- ⑧ Special Events (子どもための野外縁日・釣り大会、骨董品ショー&セール、大型車ショー、コンサート、その他各種民族・文化の祝賀式典が独自に毎年行われている。)
- ⑨ Playland Park (75年の歴史をもつアミューズメントパーク。アイススケートリンクの設備も備えている。)
- ⑩ Muscoot Farm (いろいろな家畜を飼育する牧場。工芸、カエデ糖づくり、蹄鉄などの実演をする教育プログラム、地元の自然を案内するツアーがある。)
- ⑪ Camping (年間を通してTrailer Camp, Cabin, Cottageなどが利用できるキャンプ施設が4ヶ所ある。)
- ⑫ Sports (各種のスポーツ競技大会—バスケットボール、テニス、バレーボール、水泳、ソフトボール、チアリーディング—が毎年行われている。また、クロスカントリースキー、ソリ遊び、ミニチュアゴルフなどができる施設も整備されている。)

4. Volunteers in the Parks (VIPs)

先にあげたWestchester County Parksの施設には、ボランティア (“VIPs” と呼ばれている) の活躍が欠かせない存在となっている。その仕事の一端としては、運営の補助、地元の小学校のために自然保護区や史跡の案内、写真撮影、子供達への各種教授 (水泳指導等)、公園内の沿道や庭の保守管理などである。ボランティアの年齢層は幅広く、各種の言語を話す人たちが構成されている。

“Environmental Educators Program” として、フィールドトリップを指揮したり、地元の小学校の教室において事前講義を行ったりするボランティアスタッフには、それに要求される知識や技能を身に付けるために20のプログラムが実施されている。これには、Westchester County 郡の学芸員スタッフが教授を行うが、このプログラムを受講することでSUNY (ニューヨーク州立大学パーチェス校) の単位も認定されるようになっている。

このボランティアに関しては、“V.I.P. PROGRAM” のApprication Formに各種事項を記入してもらった人の登録制となっている。

5. Summer Camp

学校が休みとなる長期休暇期間中、各種団体が “Summer Camp” と呼ばれる夏の特別教育プログラムを行っているが、Westchester County Parksでは、Ⅲ章で述べる “Westchester Summer Music Center” の他にも次のようなプログラムを実施している。

① Children's Summer Ecology Program

1983年から始まったGrade K (幼稚園児) から9th Grade (中学3年) までを対象にした自

然に興味をもつ機会を与え、環境保護への理解を図るプログラム。Westchester County学芸員により、参加者の年齢・学年のレベルに合わせて立案された次の4種類のプログラムがある。

- ・ “Explore, Discover, Have Fun!” (Grade K-6) … 1 週間
—天然自然保存地域（森林・野原・沼河）の自然の世界を紹介するプログラム
- ・ “Learn about the unique habitats of Long Island Sound” (Grade 7-9) … 1 週間
—入り江・海岸・湖・森にいる特有な生物を発見するプログラム
- ・ “Learn how to feel at home in the natural world” (Grade 4-7) … 1 週間
—Native American（アメリカ先住民）の生活を学ぶプログラム
- ・ “Learn Leadership Skills” (Grade 7-9) … 2 週間
—小屋を建てる、河を歩く、サバイバル技術を習得するプログラム

② Slam Dunk Basket Ball Camp/Little Hoopers

8～14歳を対象とする、バスケットボールの知識、またゲームでの能力を高める5日間のプログラムである。2003年度は“July14-18”“July21-25”“July28-Aug 1”の3回の期間が設けられ、自分の都合のよい期間に受講することができる（1セッション—5日間—の受講費用は250ドル）。講義は午前9時30分から午後3時30分までの6時間で、コーチは高校・大学でバスケットを教授している専門家があたり、個人・小グループレベルでの講習を受講することができる。なお、5～7歳までを対象にした“Little Hoopers”では、初心者を対象にバスケットボールの導入をする半日だけのプログラムも組まれている（1セッション150ドル）。

③ Hold-in-One Junior Golf Camp

10～17歳を対象にしたゴルフの基礎を教えるプログラムである。ゴルフの技術の向上に加え、コースの読み方、ルール・マナーの習得など、初心者にもコースを回る機会を与えている。Westchester County Parks内にある5ヶ所のゴルフコースで、それぞれ4日間のセッション（1日は2時間）が2度の期間に渡って設定されている（1セッション—計8時間—の費用は40ドル）。講師はWestchester内在住のプロゴルファー（PGA pro）が担当をする。また、ゴルフクラブなどが無い者には無料で貸し出すシステムになっている。

④ Young and Teen Farmers Program

小学3年生から中学2年生までを対象に、Westchester北部にある町KatonahにあるMuscoot Farmでの農場生活体験をする1週間のプログラムである（5日間—9a.m. to 3p.m.）。卵の回収、乳搾り、動物への餌やりや手入れ、伝統料理の実践や、野菜の手入れを体験する。このプログラムを通し、子ども達は「食物はどこから来るのか」を学び、家畜の飼育管理、日々の仕事を理解すると共に、19世紀から農家の子ども達の間で伝承されてきた工芸や遊びを体験する。

⑤ Camp Playland

7～12歳までを対象にしたWestchester南部にあるアミューズメントパーク（遊園地）『Playland』において、楽しい体験をするユニークなプログラム。アイススケートの指導の他、水泳、ミニチュアゴルフ、自然保護区へのハイキング、ペダルボートの体験がある。遊園地で遊ぶ日も午後の2日間設けられている。雨の日は工芸や映画鑑賞、室内ゲームなど活動をする。8:00a.m. から4:30p.m. までの1週間（5日間）のプログラムは6つのセッションに渡って開催され、1回のセッションの費用は325ドルである。

II. Westchester Summer Music Center（夏期音楽教室）

Westchester Summer Music Center（以下WSMCと称する）はWestchester County Parksが主催する、青少年を対象にしたSummer Campの一環として1948年から続いてきた夏期音楽教室である。2003年度は6月30日から8月8日までの6週間に行われた。ここでは、その実際を具体的に紹介、検証してみた。

1. 実施場所

WSMCが行われるWestchester County Centerは、コンサートやトレードショー、スポーツイベント、各種セミナーや集会などの地域に貢献する場を提供し、70年以上もの歴史をもっている複合施設である。1920年代にはRecreation Commissionが主催し合唱や演劇などの様々な活動が行われていたの



Westchester County Center

であるが、この施設はそれまでいろいろな場所で行われていた屋内活動を合併した一つの施設が要請された結果1930年に建設されたものである。そのため、この施設は5000席収容のホールと小ホール、展示・練習スペースなど、さまざまな形態の組織活動に対応するように設計されている。Centerの位置しているWhite PlainsはWestchester Countyの中心部にある最大の都市であるが、その中でもWestchester County Centerのある場所は、東西にInterstate287、南北にはBronx HighwayのExitがそばにあり、車数百台を収容できる駐車場が隣接している。また鉄道（Metropolitan Transportation Authority）のWhite Plains駅やバスターミナルが歩いていける距離にあり、車のない人のためにも通うことが便利な場所に位置している。

2. 実施期間と交通

WSMCの実施期間は、2003年度については6月30日から8月8日までの6週間、月曜日から金曜日に9:00a.m.～12:30p.m. の時間帯で行われた。各家庭からWestchester County Centerまでの往復に関しては各家庭の責任において行われるが、Car Pooling List（車の乗り合わせ可

能リスト）が主催者から配布され、近くに住む家庭同士が車の乗り合わせで協力できる体制をとっている。

3. 参加者の構成

WSMCは3rd Grades（小学3年生）から12th Grades（高校3年生）までを対象にしたプログラムである。WSMCは楽器の熟練者のみならず、楽器をまだ持ったことがない初心者までを対象に行われているが、期間中、参加者は2種類の楽器について講習を受ける。2003年度は約200名の参加者があった。

4. 登録

登録時の費用に関しては、「登録日」「ピアノレッスン受講希望」の如何によって料金が異なっている（右表）。Westchester

	May16, 2003まで	May16, 2003以降
登録費用	\$ 500	\$ 550
+ピアノレッスン込	\$ 550	\$ 600

County外在住者は75ドルの追加料金が課せられ、また、同じ家族内の3人目からは10%の割引料金が適用される。なお、楽器に関しては個人の責任において準備が必要とされているが、多くの楽器店ではレンタル楽器のサービスを安価で提供している。また、開始約半月前には登録者とその家族に向けて、スタッフの紹介ならびに注意事項の説明など、プログラムの準備に向けたオリエンテーションを行っている。

5. 受講楽器

WSMCの参加者は、期間中、2種類の楽器について講習を受ける。各クラスでの楽器間のバランスの調整ため、登録時、申し込み書にある以下のリストに希望楽器の記入—第1希望に#1、第2希望に#2、第2希望の代替としてAの記入—をしてもらう。（第1希望の楽器に関しての変更はしない）

Violin	Viola	Cello	String Bass
Recorder	Flute	Oboe	Basson
Clarinet	Saxophone	Trumpet	French Horn
Piano (Beginner)	Trombone	Baritone Horn	Tuba
Acoustic Guitar	Percussion	Bass Violin	

なお、生徒が習う楽器については、申込書に記載された楽器経験（誰に師事し、どのくらいの期間習っていたか）によって、主催者によりパートが振り分けられ、そのためのオーディションのようなものはない。DirectorのWhite氏によれば、そのことにより、まだその楽器を習ったことのない子どもも参加でき、また、各楽器についてもほぼ3段階のレベルに分けられるため、高度な技術をもった子どもにも対応できる、ということである。（なおレッスンの過程で、

所属しているレベルより他に異動したいと申し出があったり、講師の方で判断したりした場合には他のレベルに移ることも可能である。）

6. 実際のプログラム

<講師>

Directorには高校・中学で音楽指導をしているMitch White氏が全運営の指揮をとり、1名のAssistant Directorがそれを補佐する形をとっている。講師はWestchester County在住の小中高等学校の音楽教師を中心に行われているが、中にはプロとして演奏活動をしている人も多く、これら17人の専門家によりレッスンがもたれている（次頁）。講師料については、Department of Parksからその予算が出ているが、その他にもSupervision Staffとして4名が常駐し、講義の補佐や部屋の管理を行っている。各レッスンは30分単位に区切られ、各5分間のインターバルをばさんで、子どもたちはそれぞれに決められたレッスンの会場に移動をする。

<楽器別レッスン>

表で見るとわかるように、初心者（Ⅰ）から上級者（Ⅲ orⅣ）まで、段階別にレッスンが設けられている。楽器の人数により段階の分け方も楽器によっては異なっているが、各レッスンは多いグループでも10人以内となっており、各個人のレベルにあった専門家のレッスンが毎日受けられるようになっている。



TrumpetⅢレッスン

<合奏>

String Ensemble—弦楽アンサンブル（Ⅱ・Ⅲ）、String Orchestra—弦楽オーケストラ（Ⅰ・Ⅱ）、Wood wind Ensemble—木管アンサンブル（Ⅱ・Ⅲ）、Brass Ensemble—金管アンサンブル（Ⅱ・Ⅲ）、Symphonic Orchestra—交響楽団（Ⅱ）、Band—吹奏楽団（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、Jazz Ensemble—ジャズアンサンブル（Ⅱ・Ⅲ）と各種の合奏形態の中にレベル分けがある。なお、6時間目のSymphonic Wind Bandについてはオーディションがあり、それに合格したものについて参加することが許されている。



Jazz Ensemble練習

<その他>

楽器演奏の他にも、Chorus—合唱（Ⅰ・Ⅱ）、Theory—音楽理論（Ⅰ・Ⅱ）、Song Writing—作曲の講座があり、初心者向けにピアノのクラスが開講されている。また、講座だけではなく、子どもたちの休養のためにもRecreationというカテゴリーで専門の担当者が毎時間ついており、地下にあるExhibition Hallにてゲームや卓球などができる設備を整えている。

Lecturer	9:00-9:30	9:35-10:05	10:10-10:40	10:45-11:15	11:20-11:50	11:55-12:25
Nadine	Vn/VaⅣ	Vn/VaⅡ	Vn/VaⅠ	St. OrchⅠ	St. EnsⅢ	Vn/VaⅢ
Claude	Vc/SBⅠ	Vc/SBⅡ	String OrcⅡ	Sym OrcⅡ	St. EnsⅡ	Vn/VaⅠ
Tom. R	ClarinetⅠ	OboeⅠ	RecorderⅠ	A/T SaxⅡ	FluteⅠ	Vn/VaⅡ
Jerry	ClarinetⅠ	BassonⅠ	ClarinetⅣ	Ww. EnsⅢ	Ob/BnⅡ	ClarinetⅡ
Lil	FluteⅠ	ClarinetⅡ	ClarinetⅢ	FluteⅡ	FluteⅢ	FluteⅡ
Janet	FluteⅠ	TheoryⅠ	BandⅠ	A/T SaxⅡ	A/T SaxⅠ	Clarinet
Gerry	A/T SaxⅠ	ClarinetⅠ	A/T SaxⅣ	A/T SaxⅣ	Jazz EnsⅡ	TheoryⅡ
Scott	BandⅢ	BandⅢ	FluteⅣ	Ww. EnsⅡ	Jazz EnsⅢ	A/T SaxⅢ
Anthony	BandⅡ	BandⅡ	TrumpetⅡ	Br. EnsⅡ	F HornⅡ	F HornⅡ
Jules	TrumptⅠ	TrumptⅠ	TrumpetⅢ	TrumpetⅢ	TrumpetⅠ	TrumpetⅠ
Phil	Trb/BarⅠ	F HornⅠ	Trb/BarⅢ	Br. EnsⅢ	Trb/BarⅡ	Sym WBand
Jeff	GuitarⅠ	GuitarⅠ	GuitarⅡ	GuitarⅢ	Jazz EnsⅢ	GuitarⅠ
Bob	PianoⅠ	TheoryⅡ	Song Writing	PianoⅠ	Song Writing	PianoⅠ
Arnold	PianoⅠ	PianoⅠ	PianoⅠ	TheoryⅠ	PianoⅠ	PianoⅠ
Shirley	ChorusⅠ	ChorusⅠ	ChorusⅡ	ChorusⅠ	ChorusⅡ	ChorusⅡ
Dave	PercussⅠ	PercussⅠ	PercussⅢ	PercussⅡ	Jazz EnsⅢ	PercussⅠ
Florence	Recreation	Recreation	Recreation	Recreation	Recreation	Recreation

※略記

Vn…Violin, Va…Viola, Cello…Vc, String Bass…SB, Ob…Oboe, Bn…Basson, St…String
 A/T Sax…Alto/Tenor Saxophone, Trb/Bar…Trombone, Baritone, Percuss…Percussion,
 Orch…Orchestra, Ens…Ensemble, Ww…Woodwind, Br…Brass, Symp…Symphonic,
 SymWband…Symphonic Wind Band

7. 保護者に向けて

期間中、保護者を対象にした公開日を設け、保護者の理解を図っている。

- Faculty Concert（指導者の先生方による演奏会1回…2週目）
- Family & Friends Day（受講の様子を観察できる1日…4週目）
- Keyboard and Piano Concert（ピアノ受講生の演奏会1回…5週目）
- Music Center Concert（各バンドの演奏会4回…3週目、最終週）

Music Center Concert；3週目<プログラム>…演奏順に

☆『ConcertⅠ』7月16日

ブラスアンサンブルⅡ、コーラスⅠ、弦楽オーケストラⅠ、バンドⅠ、弦楽アンサンブルⅡ、吹奏楽Ⅱ、ジャズアンサンブルⅡ、Symphonic Wind Band（選抜メンバー）

☆『ConcertⅡ』7月18日

ブラスアンサンブルⅢ、弦楽オーケストラⅡ、コーラスⅡ、クラリネットⅣ、作曲、トロンボーン／バリトンホルンⅢ、弦楽アンサンブルⅢ、サキソフォンアンサンブル、ジャズアンサンブルⅢ、吹奏楽Ⅲ

8. 安全の取り組み

近年、劣悪な犯罪が社会や学校現場で起こり、多くの青少年が被害にあっている。こうした

現状を踏まえ、そうした被害を未然に防ぐため次のような安全対策を行っている。

- スタッフメンバーと分かるように、WSMC期間中、全スタッフはオリジナルシャツの着用を義務づけられている。
- 受講開始半月前のオリエンテーション（6月14日）で、すべての保護者・生徒を対象に「あらゆる危険要素」ならびに「施設内での立ち入り禁止区域」、また「事故などがおきたときの対処」、「持ってくるものと家に置いてくるもの」等の説明が行われる。
- 受講開始2日目には、「火災避難訓練」を行う。

現在、日本でも施設における不審者の立ち入りが問題視され、その安全対策が危急の課題とされている。また、教室内で教師の指導が通らない“学級崩壊”や、施設内での“性的虐待”なども日本の教育界でも話題となっている。Summer Music Centerの『Staff Handbook』の中に実施期間中のスタッフが守るべき注意事項についてその詳細が述べられているが、アメリカの公的機関の主催するWSMCでは安全対策についてどう取り組んでいるのか、その参考となるものが多いと思われるので、その中から要旨を紹介する。

○Lost Student Plan…子どもがいなくなった場合

- 講師はすべての責任を負わなければならない。初日に名簿が配布される。出欠はクラスの初めにとる。
- 生徒が来ていないときはディレクターに報告の上で、ディレクターはすべての講師に出欠の確認を指示する。いないことが発覚した場合は搜索を始める。他のスタッフがレッスンをやっている間、County Center内のすべての場所をスタッフが探す。その生徒の名前を放送で呼びかける。それでも見つからなかった場合、County Centerのスタッフにその時点で知らせる。
- もし30分経過しても見つからなかった場合、ディレクターは生徒の容姿・特長など搜索の助けとなる事項を警察に報告する。警察が到着するまでCenterの出口はクローズしておく。
- スタッフはCenter中をくまなく警察の指示に従う。
- 1時間経過しても見つからない場合、ディレクターは保護者に知らせる。その後の取り調べは警察の扱いとなり、スタッフは警察当局の指示を受ける。

○Student Discipline…子どものしつけへの対処

- プログラムの初日は、今後の生徒のしつけを保ちクラスの成功を決定付ける。
- つねに生徒と応対する時は、公平性と正当性をもつ。彼らの講師に対する敬意は大事な利点となる。ある生徒には厳しく他の生徒には寛大であったり、ある時はあるルールを強調する一方で次のレッスンでは無視してみたりでは“規則”“指導者”共に信頼されなくなる。一貫性がとても重要である。
- 生徒を訓練・懲戒する場合、考慮する前のすべての事実、ならびに訓練行動の種類が確

かなものであるかを検証すべきである。

- 実行できない事柄については、脅しや約束はしないこと。行動を伴っていない警告の繰り返しは講師の立場を弱くする。スタッフや子どもが「実行できない」とわかるものについてペナルティを課すような脅しはかけないこと。
- 子どもはしつけられるべき存在であることをわすれないこと。彼らの中に「自分は一番グループの中でいちばん気に入られている」というような行動をとらないようにしなければならない。押しつけられ、子どもの理解の範疇を越えた教授法は、子どもの立腹の繰り返しによって理解できる。
- しつけへの適切な対処は次の事柄を含む。
 - 「“時間切れ”によって、子どもを問題から切り離し、何が悪いのかを考えさせる」
 - 「プログラムのルール（どうしてそれがいいのか）を話し合う」
 - 「生徒に、ディレクターへの報告を勧告する」
 - 「プログラムの規則のために、保護者に連絡し彼らのサポートを求める」

○Response to Allegation of Child Abuse…児童虐待の申し立てへの対処

- 講座開始前のスタッフオリエンテーションの中で、ディレクターより“よい接触”と“悪い接触”の違いについて話し合いがもたれる。犠牲者より、冒涇されたことや、何らかの方法で心地よくない気持ちにされたことをスタッフや家族に告げられることは喚起されるべきである。
- 犠牲者はディレクターとDepartment of Parksのスタッフによりインタビューがもたれる。すべてのケースにおいて性的虐待は犠牲者の親とWestchester County Department Healthに24時間以内に報告されなければならない。

Ⅲ. 考 察

今回実際にSummer Music Centerの実際を調査して、音楽という文化活動を長期間共に行うことで、普段は接点のあまりない他の学校の子ども同士が強い友情関係を結んでいる、ということ強く印象にもつことができた。また、その中でも年長者や音楽経験の豊富な者から多くの刺激を受け、自分の得意分野の可能性を伸ばすいい機会になることを強く感じることもできた。

日本では地域の子ども達と一緒に遊ぶ場所や機会が少なくなり、昔に比べると学年の異なる子どもたちとの接触の機会が少なくなったことがよく言われる。日本でも町内会などを単位に異年齢の子どもで結成されている“子ども会”の活動がある。札幌市発行の広報によれば、そこ（子ども会）では「さまざまな年齢の子ども同士が接することで、年少の子どもに対する思いやりを身に付けたり、年長の子どもからいろいろなことを教えてもらったりする」という点や、「団体行動を通じて、ルールを守り、周囲と協調する心が育つ」という利点を強調している。

しかしながら、日本の多くの“子ども会”の活動は小学生の児童が対象であり、今回のような中学生・高校生のティーンエイジ達を包括した取り組みにはなっていない。日本の多くの中学生・高校生の夏休みを見ると、その多くは受験生を対象にした進学塾主催の「夏期特別講座」、またはコンクールや各種スポーツ競技大会に向け、学校の威信を掛けてハードな部活動の練習に休みの多くを費やしている生徒が多いことが察せられる。日本の学校教育を受ける生徒の多くが、そうした競争社会の枠に組み込まれ、ともすると指導者である大人の利害の手段となりうる現実がある。

性質上、競技を伴うスポーツと異なり、本来、音楽は異なる人々を結びつけ、協和するための手段となるべきである。学校単位で独自に行う教育は普段の教育活動に任せるとしても、今回取材したWestchester County主催のサマースクールのように、まとまった夏期休暇期間では普段は接点が少ない異なる学校の生徒を結びつける取り組みがもっと行われてよいはずである。私が以前中学校の音楽教師として赴任していた地域では年1回、地区の吹奏楽連盟の主催による「初心者講習会」というものがあった（地区の音楽教師が講師となり、地区内の初心者および初級の生徒を対象に楽器の講習を行うもの）。しかしながらそれは1日だけの取り組みで、単に基礎的な技術のコツを習得はできて、参加した生徒同士の結びつきなどはあまり期待できるものではなかった。

社会教育に関して、多くの自治体が教育委員会内では「スポーツ振興」に関わる“社会教育指導主事”を置いているが、「音楽振興」に関して、民間の団体（吹奏楽連盟等）に任せるとはならず、もっと行政が積極的に関わり、地域の青少年を対象にした音楽教育振興の舵取りを行うべきである。そして、今までのような「学校単位」としての活動に留まることなく、外に出て行って新しいものを吸収し、地域の若者が音楽活動を通してもっと交流を図り、そうした取り組みからまた学校・社会へと還元していけるようなシステムが必要である。近年、若い世代の町内会への関わりが減り、昔見られた青年団の活動に見られる地域行事（祭りなど）への積極的参加が廃れつつあるが、このようにして育った人材群がやがて地域の核となり、地域活動への積極的な関わりや取り組みの活性化につながると信ずるものである。



<参考文献>

- ・ Marilyn E. Weigold “People and The Parks ; A History of Parks and Recreation in Westchester County”、 Westchester County、1984
- ・ “A Guide to Westchester County Parks”、 Department of Parks、2003
- ・ “Volunteers in the Parks”、 Department of Parks、2003
- ・ Summer Music Center “Staff Handbook”、 Department of Parks、2003
- ・ 『広報さっぽろ 9月；東区』、札幌市、2003